

ユー・ジュアル・サスペクツ (1995)

THE USUAL SUSPECTS

メディア 映画

ジャンル サスペンス ミステリー

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 105分

初公開日 1996/04/13

公開情報 アスミック

映倫 G

【解説】

銃器強奪事件の面通しで集められた五人の前科者（これがタイトルの指す“常連の容疑者”）を主人公に、歯車の狂い始めた犯罪計画を卓越した構成で描いたサスペンス・ミステリー。

カリフォルニア、サン・ペドロ港でアルゼンチン・マフィアの所有する船舶の炎上事故が発生。それはコカインを奪おうとした犯罪者一味とマフィアの闘いの結果であった。一味の生き残りであるヴァーバル（K・スペイシー）を尋問していた関税特別捜査官クインラン（C・パルミンテリ）は、6週間前、銃器強奪事件の容疑者として集められた5人の男たちの身にふりかかった奇妙な話を聞く事になる。元汚職警官のキートン（G・バーン）、マクナマス（S・ボールドウィン）とフェンスター（B・デル・トロ）の強盗コンビ、爆破の専門家ホックニー（K・ポラック）、そして詐欺師のヴァーバルら5人は、釈放後、協力して宝石強奪を決行。ブツをさばくためにLAの故買屋と接触した5人は、そこで新たなヤマを依頼されるが、宝石と聞かされていた獲物は麻薬で、トラブルから相手を射殺してしまう。そして恐慌状態の彼らの前に、伝説のギャング“カイザー・ソゼ”の右腕と名乗る弁護士が現れたというのだ……。

この映画ほどストーリーを文章化する事の無意味さを感じるものはないだろう。込み入ってるはずの構成がいつも容易に頭に入るのは、とにもかくにも脚本が達人な事に尽きる。パズルの最後の断片が綺麗に埋まる事の快感と例えればいだろうか。だがこの映画はそれがパズルであった事も忘れさせてくれる力を持っている。この隙のない仕事、まだ新人と呼んでもいいキャリアの二人組（監督シンガー&脚本マッカーリー）から生まれた事には驚嘆せざるをえない。バーン、スペイシーを筆頭に、男優たちは皆いい面構えをしており、それがこの作品を一見で終わらせない魅力にもなっている。

【クレジット】

監督	ブライアン・シンガー	Bryan Singer	
製作	ブライアン・シンガー	Bryan Singer	
	マイケル・マクドネル	Michael McDonell	
製作総指揮	ロバート・ジョーンズ	Robert Jones	
	ハンス・ブロックマン	Hans Brockmann	
	フランソワ・デュプラ	Francois Duplat	
脚本	クリストファー・マッカーリー	Christopher McQuarrie	
撮影	ニュートン・トーマス・サイジェル	Newton Thomas Sigel	
編集	ジョン・オットマン	John Ottman	
音楽	ジョン・オットマン	John Ottman	
出演	スティーヴン・ボールドウィン	Stephen Baldwin	マクナマス
	ガブリエル・バーン	Gabriel Byrne	キートン
	チャズ・パルミンテリ	Chazz Palminteri	クイラン

ケヴィン・ポラック	Kevin Pollak	ホックニー
ピート・ポスルスウェイト	Pete Postlethwaite	コバヤシ
ケヴィン・スペイシー	Kevin Spacey	ヴァーバル
スージー・エイミス	Suzy Amis	
ジャンカルロ・エスポジート	Giancarlo Esposito	
ベニチオ・デル・トロ	Benicio Del Toro	
ダン・ヘダヤ	Dan Hedaya	
ピーター・グリーン	Peter Greene	
クリスティーン・エスタブルック	Christine Estabrook	
ジャック・シアラー	Jack Shearer	
フィリップ・サイモン	Phillipe Simon	